

京都

KYOTO

不思議ふしぎ!?

京都に隠れた意外な秘密を紹介します

歴史や文化、全てが源流へとたどり着く古都。京都を知ることには日本を理解すること。

京都好きを大好きに

検定 京都

京都・観光文化検定試験
京都商工会議所

京都とお相撲!?

七月は奇数月で大相撲が興行されます。日本最初の相撲とされる野見宿禰と当麻蹴速の勝負が垂仁天皇の皇后の死を悼んで七月七日に行なわれて以来、相撲節会は七夕の行事。

今は東京、大阪、名古屋、博多の四ヶ所ですが、明治には四季相撲といつて江戸で二回、大坂、京都で各一回の興行でした。京都には相撲大尽といわれた北川南城をはじめ、

相撲好きの興行主がいましたが、先号で紹介した伏見の勇山こと小畑岩次郎もその一人。四度も相撲の勧進元を務め、その葬儀に集まった人は、先頭が三条に入っても最後尾はまだ伏見の自宅にいたといえます。その死を悼んでだん王法林寺で追悼相撲が行なわれたのが大正七年のこと。京都では神泉苑や糺の森、法林寺などで相撲が興行されました。

意外に知られていませんが、京都出身の力士も多く、なかには歴史の舞台を彩った人もいました。あまりの太鼓腹で転ぶと一人で起き上がれなかったため妊婦さんの代名詞となった鞍馬山鬼市、その体から大尻と呼ばれた鬼面山谷五郎、長生きしたらあの雷電を凌いだといわれた鱧の山浦右衛門、五条家から横綱を許された大淀紋太郎、同じく京都横綱兜濁弥吉こと甲形義春

の墓は池坊歴代の菩提寺善想寺にあります。なかでも勤王力士と名をはせた華の峯善吉を忘れてはいけません。西園寺公望の命の恩人といわれ、清水寺には彼が主導して建立した西郷隆盛の石碑がありますし、華の峯の墓は八月の万灯会で有名な東大谷墓地にあります。皆さんの身の回りにも意外な相撲の遺跡が隠れているかもしれませんね。

(同志社大学非常勤講師 堤勇二)



数々の勧進相撲が行なわれただん王法林寺



清水寺 西郷隆盛慰墓碑



華の峯善吉の墓がある大谷祖廟